

(1) 苫小牧市スポーツ推進計画について

活気みなぎる「スポーツ都市」とまこまい ～スポーツを愛し、市民が活気あふれるまちへ～

- ① 令和4年度事業実績
- ② 令和5年度事業予定



©2011 苫小牧市

No. 1 市民スポーツ祭の開催

事業の目的

各種競技の市民スポーツ祭を開催し、幅広い市民に参加の機会を与え、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりに寄与することを目的とする。

事業内容

事業1 各種市民スポーツ祭の開催

区 分	R4実績	R5予定
(1) 市民フロアカーリング大会	32人	同内容で 実施予定
(2) 市民バドミントン大会	56人	
(3) 市民パークゴルフ交流大会	164人	
(4) 市民スポンジテニス交流大会	33人	
(5) 市民卓球大会	225人	
(6) 市民ソフトテニス大会	293人	



No.2 ウォーキング事業の開催

事業の目的

ウォーキングを通じて、市民の健康づくりと体力づくりを進めるとともに、苫小牧の自然あふれるウォーキングコースを歩くことで、まちの魅力の再発見や郷土愛を深める。

事業内容

事業1 ウォーキングスタンプラリー

- 内 容：参加者各自で設定したコースをウォーキングし、公共施設でスタンプをもらい、15個貯めるとまちょップポイントを付与



内 容	R4実績	R5予定
(1) 期 間	6月～9月	6月～9月
(2) 参加者	344人	-

事業2 ウォーキングフェスティバル

- 内 容：10月上旬に開催
10km・5kmのコースを設定
参加賞を贈呈
とまちょップポイントを付与

内 容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年10月8日(土)	10月上旬
(2) 場 所	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター周辺	未定
(3) 参加者	174人	-

No.3 アールビーズとの協働事業

事業の目的

ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業を実施し、社会貢献活動を行っている(株)アールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。

事業内容

事業1 協働事業の展開

- 内 容：包括連携協定を締結し、ランニングやウォーキング等を通じた事業の実施

内 容	R4実績	R5予定
(1) 事業名	「苫小牧30K」 (マラソン大会)	同内容で 実施予定
(2) 開催日	令和5年3月26日(日)	
(3) 参加者	500人	



No. 4 スポーツフェスティバルの開催

事業の目的

スポーツ都市宣言のまち苫小牧において、スポーツを「みる」、ボランティアの「ささえる」、活動を通して「する」等により、市民のスポーツへの興味が喚起される機会を創設する。

事業内容

事業1 スポーツフェスティバル

- 内 容：
 - ・市民大運動会
 - ・ランニングバイクチャレンジ
 - ・スポーツ玉入れ、リレー
 - ・スポーツ体験会
 - ・ウエイトトレーニング
 - ・おもしろスポーツ
 - ・パラスポーツ
 - ・スポーツ発表会
 - ・新体操演技
 - ・ヒップホップダンス演技
 - ・スポーツEXPO
 - ・スポーツ関連企業の出店



内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年10月9日(日)	10月中旬
(2) 場 所	総合体育館	総合体育館
(3) 参加者	1,519人(観客含む)	-

No. 5 市民スポーツ開放事業（学校開放事業）

事業の目的

小・中学校の体育館や校庭を学校教育活動に支障のない範囲で解放し、スポーツ活動や社会教育に活用する。

事業内容

事業1 市民スポーツ開放事業

- 内 容：市内の小学校22校、中学校3校を開放

No. 6 児童の健全育成

事業の目的

市内各児童センターにおいて、児童が遊びを通して運動に親しむ習慣の形成や体力の増進を図る。また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。

事業内容

事業1 児童センターの運動事業

- 内 容：ボール遊びなどの運動を実施
活動内容や行事案内を、市ホームページや広報に掲載するほか、「センター便り」として、近隣の学校に毎月配布

No.7 スポーツ施設利用者・スポーツイベント参加者へのポイント付与

事業の目的

市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。

事業内容

事業1 とまチョップポイント付与

- 内 容：スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント6事業の参加者にとまチョップポイントを付与する。

No.8 スポーツに関する情報発信

事業の目的

子ども対象となる行事案内を毎月、各公共施設に配布し、スポーツの振興や生涯学習の機会の充実を図る。

事業内容

事業1 子どものための行事案内

- 内 容：毎月、子どものための行事案内を毎月、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布するとともに、市ホームページ等で情報提供

No.9 青少年スポーツ振興事業（令和5年度新規事業）

事業の目的

少年団等の活動内容を紹介する動画をインターネット等で配信し、競技人口の底上げを図るとともに、スポーツを通じた健康や体力づくり、地域スポーツの振興を推進する。

事業内容

事業1 スポーツ団体の紹介動画作成・配信

- 内容：動画について

少年団等の練習や選手・監督を取材し紹介するほか、練習スケジュールや会費など、子どもたちや保護者が実際に活動への参加を検討するために必要な情報を提供

配信について

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ、同好会等を対象に、年間10団体程度を市公式YouTubeにて配信するとともに、スポーツ施設などに設置のモニターでも放映する予定



No.10 苫小牧市老人クラブ連合会への補助

事業の目的

お年寄りの健康づくりと友愛、交流を深めるため、苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。

事業内容

事業1 老人オリンピックの開催 (開催費用助成)

- 内 容
- ・ 玉入れ競争
- ・ ボール送り競争
- ・ 輪投げリレー
- ・ 数字合わせ競争等

内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	中止	7月
(2) 会場	-	総合体育館



No.11 70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行

事業の目的

市内在住の70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくり、生きがいを図る。

事業内容

事業1 スポーツ施設無料利用券の発行

- 内 容：スポーツ施設13施設の無料利用券を発行

No.12 保健センターを利用した運動教室・講座

事業の目的

健康づくりに関する教室・講座を開催し、市民の健康増進を図る。

事業内容

事業1 教室・講座等の開催

- 内 容：健康づくり教室、運動教室、栄養教室、健康栄養相談等を実施

No.13 健康に関するイベント実施

事業の目的

健康づくりの契機となる事業を開催し、市民一人ひとりが健康を意識し、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。

事業内容

事業1 「健考・健幸DAY」のイベント開催

- 内容：市民の健康を応援するイベントとして、「肥満」「腸活」などの健康課題をテーマに講演会や各種健康測定会を実施



内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年10月2日(日)	10月上旬
(2) 会場	市民会館	-
(3) 参加者	99人	-

No.14 とまこまいマラソン大会の開催

事業の目的

多くの方々が参加することができるマラソン大会の開催を通じて、健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るいまちづくりをすすめる。

事業内容

事業1 真夏の太平洋ハーフマラソンin勇払

内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年7月17日(日)	7月上旬
(2) 種目	ハーフマラソン	同内容で実施予定
(3) 会場	勇払地区	
(4) 参加者	511人	



事業2 秋のファミリーマラソン in緑ヶ丘公園陸上競技場

内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年9月25日(日)	7月上旬
(2) 種目	2.3km ファンラン	勇払地区 ※ハーフマラソン と同時開催予定
(3) 会場	緑ヶ丘公園陸上競技場	
(4) 参加者	318人	



No.15 八地区スポーツフェスティバルへの支援

事業の目的

市内を8地区に分けて、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。

事業内容

事業1 八地区スポーツフェスティバルの開催

地区	R4実績		R5予定
	内容	参加者	
(1) 錦岡地区	中止		継続 予定
(2) 糸井地区	フロアカーリング他	160人	
(3) 中央東地区	中止		
(4) 中央南地区	ウォーキング他	133人	
(5) 中央西地区	パークゴルフ他	53人	
(6) 中央北地区	フロアカーリング	87人	
(7) 沼ノ端地区	ソフトボール他	192人	
(8) 勇払地区	パークゴルフ	35人	



No.16 小学校低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催

事業の目的

小学校低学年を対象としたアイスホッケー大会を開催し、競技の楽しさ・面白さを伝え普及を図る。

事業内容

事業1 Jr. アイスホッケーチャレンジカップの開催

- 内 容：小学生アイスホッケー同好会連合会の4年生以下を対象とした大会を開催

内容	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年12月3日(土) ～11日(日)	同内容で 実施予定
(2) 参加チーム	4チーム	
(3) 参加者	102名	



No.17 氷上スポーツ育成事業

事業の目的

幼児や小学校低学年が対象となる、氷上スポーツ体験教室の開催や実施を支援し、競技人口の底辺拡大と子どもの体力向上を目的とする。

事業内容

事業1 スケートエンジョイスクール

コース	対象	R4実績（見込）			R5予定		
		会場	回数	参加者	会場	回数	定員
(1)スケート	4～6歳	白鳥 沼ノ端 ときわ	12回	100名	白鳥 沼ノ端 ときわ	20回	120名
(2)アイスホッケー	4～6歳	白鳥 沼ノ端	12回	42名	白鳥 沼ノ端 ときわ	20回	120名
(3)学生アイスホッケー	小1～ 小4	白鳥	12回	41名	白鳥	20回	40名

事業2 スピードスケート体験教室

コース	対象	R4実績（見込）			R5予定		
		会場	回数	参加者	会場	回数	定員
体験教室	5歳児 ～小4	沼ノ端 ハイランド	14回	21名	沼ノ端 ハイランド	14回	25名

事業3 幼児対象氷上スポーツ助成

●内 容：幼稚園等が行う氷上スポーツ行事の費用を3万円まで助成

区分	R4実績（見込）	R5予定
(1) 助成団体数	15団体	20団体
(2) 助成金額	472,000円	532,000円



No.18 町内会スケートリンク経費助成

事業の目的

身近な地域で気軽にスケートを楽しめる環境をつくるため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。

事業内容

事業1 町内会スケートリンク経費助成

●内 容：町内会が実施するスケートリンク設置事業に対し、1リンク62,750円を上限に助成



区分	R4実績	R5予定
(1) 助成団体数	6町内会	6町内会
(2) 助成金額	376,500円	376,500円

No.19 スポーツイベントの情報発信

事業の目的

各スポーツ施設のイベント情報を、市の広報媒体で広く発信し、市民のスポーツへの参加を推進する。

事業内容

事業1 スポーツイベントの情報発信

- 内 容：市ホームページや広報とまこまい、SNSを活用し随時、スポーツイベントの情報を発信

No.20 スポーツ団体に関する情報発信

事業の目的

年に1回サークルガイドを作成し、スポーツのほか文化・芸術等の団体一覧を公共施設や市ホームページ等で情報提供し、生涯学習に取り組む機会を提供する。

事業内容

事業1 サークルガイドの作成

- 内 容：毎年6月にサークルガイドを作成し、公共施設への配布のほか、市ホームページ等で情報提供

No.21 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催

事業の目的

「氷上の甲子園」と呼ばれる、インターハイと並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケータウンとしての知名度向上や全国的な競技の振興を図る。

事業内容

事業1 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催（実行委員会補助）

- 会 場：白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
新ときわスケートセンター
- 出場枠：各都道府県1チーム
※活動の多い地域として北海道10チーム
青森2チーム、東京2チーム

区分	R4実績	R5予定
(1) 日 程	【第17回大会】 令和4年8月2日(火)～7日(日)	【第18回大会】 令和5年8月11日(金)～16日(水)
(2) 参加チーム	22チーム	28チーム
(3) 参加者	選手・関係者 553名 大会役員 191名 合 計 744名	選手・関係者 700名 大会役員 200名 合 計 900名
(4) 補助金額	9,000,000円	5,000,000円

◆【R4年度（第17回）大会の検証結果】

●ポイント

＜参加者アンケート結果＞

- (1) 移動中のマスク着用、飲食等禁止
- (2) ウォーミングアップ中のマスク着用、大声禁止
- (3) 控室でのマスク着用
- (4) ベンチでの声出し、審判との会話の自粛

＜リンク関係者・国立感染症研究所等の指摘＞

- (5) 控室の換気・短時間利用
- (6) 審判のマスク着用・電子ホイッスル導入など
- (7) 感染対策の目標設定

◆【R5年度（第18回）大会に向けて】

新型コロナウイルスの取扱いの変更、リンク環境の特殊性等も踏まえ、関係機関と対策を協議し実施

No.22 全国・全道大会開催誘致活動

事業の目的

本市の魅力が道内外に情報発信するとともに、補助金制度により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致し、地域の活性化を図る。

事業内容

事業1 全国・全道スポーツ大会開催運営費補助金

- 内容：本市で開催されるスポーツ競技の全国及び全道大会について補助。
 - (1)主に小学生、中学生、高校生、高専生、大学生を対象とした大会であること。
 - (2)次の団体が主催する大会であること。
 - ①(公財)日本スポーツ協会加盟の競技団体
 - ②全国中学校体育連盟及び北海道中学校体育連盟
 - ③(公財)全国高等学校体育連盟及び北海道高等学校体育連盟
 - ④全国高等学校野球連盟及び北海道高等学校野球連盟

区分	R4実績	R5予定
(1) 補助大会数	全道 8大会 全国 1大会 計 9大会	全道 11大会
(2) 補助額	3,040,000円	1,650,000円



No.23 第95回日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会の開催

事業の目的

大学生の最高峰となる日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会（インカレ）を市内で開催し、競技の振興を図るとともに、「氷都とまこまい」としての知名度向上や地域の活性化を図る。

事業内容

事業1 第95回日本学生氷上競技選手権大会の開催 (実行委員会補助)

- 開催日：令和5年1月5日(木)～7日(土)

競技1 スピードスケート競技

- 場 所：ハイランドスポーツセンター
- 参加者：178人(選手)

競技2 フィギュアスケート競技

- 場 所：白鳥王子アイスアリーナ
- 参加者：185人(選手)

実行委員会補助額 3,000,000円



No.24 令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催

事業の目的

高校生スポーツ最大の祭典である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のソフトテニス競技大会及びテニス競技大会を開催する。

事業内容

事業1 令和5年度全国高等学校総合体育大会 ソフトテニス・テニス競技大会の開催 (実行委員会補助)

競技1 ソフトテニス競技

- 日程 令和5年7月22日(土)～29日(土)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場

競技2 テニス競技

- 日程 令和5年7月31日(月)～8月7日(月)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場
千歳市青葉公園庭球場

区分	R4実績	R5予定
補助額	2,600,000円	17,000,000円

競技種目	競技会場	7月							
		22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土
総合開会式	道立総合体育センター (北海きたえーる)	◎							
ソフトテニス	市民会館	○				○			
	緑ヶ丘公園庭球場		●	●	◆		●	●	◆

競技種目	競技会場	8月							
		31 月	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月
テニス	市民会館	○							
	緑ヶ丘公園庭球場		●	●	●	●	●	●	◆
	千歳市青葉公園庭球場		●			●	●		

◎：総合開会式 ○：競技種目別開会式 ●：競技 ◆：競技終了後閉会式



No.25 第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)の開催

事業の目的

広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に、国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を開催する。

事業内容

事業1 第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催 (実行委員会補助)

- 日程 令和6年1月27日(土)～2月3日(土)
- 開催競技 スケート競技(スピード・フィギュア・ショートトラック)
アイスホッケー競技
- 参加人数 47都道府県 約2,000人
(選手・監督 約1,600人)
(大会役員等 約400人)
- 会場 開始式 市民会館
競技 ハイランドスポーツセンター
白鳥王子アイスアリーナ
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
新ときわスケートセンター

区分	R4実績	R5予定
補助額	2,984,000円	34,465,000円

式典・競技	日程							会場	
	令和6年1月				2月				
	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	1 木	2 金		3 土
開始式	PM◎								市民会館
表彰式	スケート				PM◎				ハイランドスポーツセンター
	アイスホッケー						PM◎		白鳥王子アイスアリーナ
スケート	スピードスケート		○	○	○	○			ハイランドスポーツセンター
	ショートトラック		○	○					新ときわスケートセンター
	フィギュア		○	○	○	AM○			白鳥王子アイスアリーナ
アイスホッケー	少年の部					○	○	○	白鳥王子アイスアリーナ
						○			新ときわスケートセンター
	成年の部					PM○	○	○	白鳥王子アイスアリーナ
					○	○	○	○	○
			○	○				新ときわスケートセンター	

No.26 スポーツ合宿等助成

事業の目的

スポーツ合宿を実施する市外の団体に対して経費の一部を補助し、誘致を図るとともに、地域の活性化や競技力の向上につなげる。

事業内容

事業1 苫小牧市スポーツ合宿等補助金

- 内容：1回の合宿において参加者の延べ宿泊数が5泊以上の合宿が対象
※大会期間及びの前日泊は除外
- (1) 補助対象経費
 - ①中央競技団体 2,000円/人
 - ②それ以外の団体 1,000円/人
- (2) 1回の申請における限度額
 - ①中央競技団体 200,000円
 - ②それ以外の団体 100,000円

区分	R4実績（見込）	R5予定
(1) 合宿件数	62件	150件
(2) 補助額	3,700,000円	9,194,000円

苫小牧で合宿をする団体に費用の一部を補助します！

中央競技団体（1人1泊 2,000円補助）
その他競技団体（1人1泊 1,000円補助）



白鳥王子アイスアリーナ



苫小牧市公式キャラクター「とまちょっぷ」



苫小牧市



苫小牧市緑ヶ丘公園陸上競技場

スポーツ合宿は苫小牧で！

No.27 スポーツ合宿の誘致活動

事業の目的

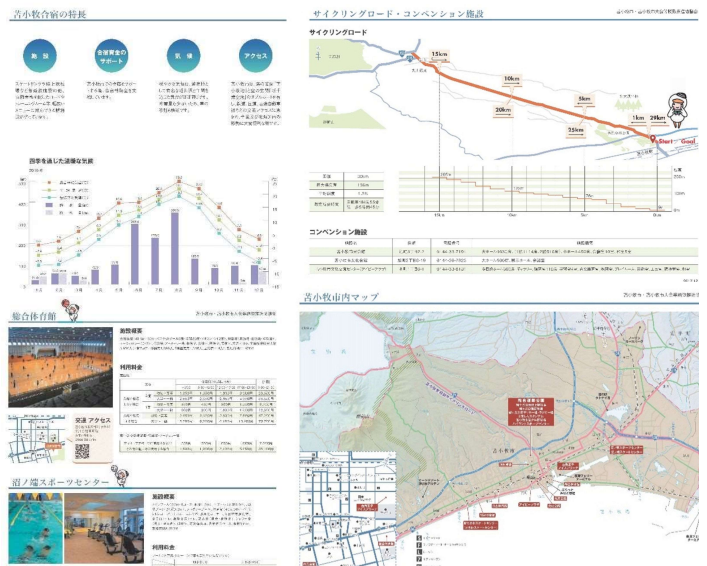
大会等誘致推進協議会により、本市の優位性をPRし、市外の団体等の合宿を誘致する。

事業内容

事業1 合宿誘致セールスの実施

- 内容：例年2月に、首都圏の競技団体等を中心に合宿の誘致セールスを実施。
また、合宿を実施した団体には、歓迎品として、スポーツドリンク等を進呈。
- 実施主体：大会等誘致推進協議会
(事務局：観光協会)
主な構成員
 - ・観光協会
 - ・商工会議所
 - ・苫小牧市（観光振興課・スポーツ都市推進課）
 - ・苫小牧市スポーツ協会
 - ・旅行取扱業

※令和5年度から「苫小牧市MICE誘致推進協議会」に改組
誘致対象分野を大会合宿だけではなくMICE全体に拡大



No.28 アイスホッケー競技NTC事業の推進

事業の目的

ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本アイスホッケー競技のレベルアップを図る。

事業内容

事業1 中央競技団体による施設利用

- (1) 男子ナショナルチーム強化合宿
- (2) 女子ナショナルチーム強化合宿
- (3) 男子U18ジュニアチーム強化合宿
- (4) 女子U18ジュニアチーム強化合宿
- (5) 女子U16ジュニアチーム強化合宿
- (6) 女子U12ジュニアチーム強化合宿

事業2 強化・育成活動

- (1) ナショナルレベルの競技者の集中的・継続的な強化活動
- (2) 競技者育成プログラムに基づくジュニア競技者の育成
- (3) 医・科学セミナー講師によるメンタル講習



No.29 プロスポーツの試合開催

事業の目的

トップレベルのスポーツ観戦の機会をつくり、スポーツが持つ楽しさや感動を共有し、スポーツ人口の増加を図る。

事業内容

事業1 プロスポーツ等の試合開催

- 内 容：世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。
 - R4年度大会実績
- (1) アジアリーグアイスホッケー2022-2023
レギュラーシーズン・プレーオフ
令和4年9月～令和5年3月
※21試合を白鳥王子アイスアリーナで開催
 - (2) 女子プロゴルフニッポンハムレディスクラシック
令和4年7月7日(木)～7月10日(日) 桂ゴルフクラブ
 - (3) ツール・ド・北海道2022
令和4年9月11日(日) フィニッシュ地点：緑ヶ丘公園



No.30 国際アイスホッケー中学生交流会

事業の目的

トヨタ自動車カナダとトヨタ自動車北海道との間で製品取引が開始されたことを記念し、アイスホッケーを通じて、両国の中学生による交流を深めるとともに、競技力向上と普及を図る。

事業内容

事業1 国際アイスホッケー中学生交流会の開催 (実行委員会補助)

- 内容：1年ごとにカナダと本市の選手団が相互に訪問し、交流試合等を実施

交流内容

- ・ 交流試合
- ・ 学校体験
- ・ ホームステイ
- ・ 歓迎パーティー
- ・ 観光 など



区分	R4実績	R5予定
(1) 実施時期	中止	R6年3月
(2) 実施内容	-	カナダ選手団受入

No.31 スポーツ大会遠征費補助金

事業の目的

全道・全国大会に出場する小学生から大学生の団体・個人に対して、遠征に係る経費の一部助成等を行い、選手のレベルアップはもとより、所属チームなどにも経験を還元し、地域のスポーツ振興につなげる。

事業内容

事業1 遠征費補助金

【補助内容】

- ①大会：全道・全国大会
- ②対象者：市内在住の小・中学生
⇒交通費7割
+宿泊費3千円/泊
市内在学の高校・大学生等
⇒一律1万円

区分	R4実績（見込）	R5予定
(1) 補助件数	103件 (小学生22件) (中学生64件) (高校生12件) (その他 5件)	110件
(2) 補助金	10,567,997円	12,104,000円

事業2 国際大会出場奨励金

【交付内容】

- ①対象大会：オリンピック、世界選手権等
- ②対象者：市内在住・在学、
市内チームに所属する者
- ③交付額：10万円/人（オリンピック）
5万円/人（世界選手権）
3万円/人（その他、学生のみ）

区分	R4実績（見込）	R5予定
(1) 補助件数	7件	22件
(2) 奨励金	340,000円	840,000円

No.32 アスリートに対する応援事業

事業の目的

本市ゆかりのアスリートをまち全体で応援し、市民のスポーツへの興味関心を高めることで、スポーツ人口の増加につなげる。

事業内容

事業1 アスリートに対する応援事業

- 内 容：市民がアスリートを応援する機運を高めるため、オリンピック・パラリンピック等の出場者への壮行会、メダル受賞者や、プロ野球ドラフト会議指名選手等のセレモニーを実施

【主な応援事業】

- ・壮行会
- ・パブリックビューイング
- ・応援メッセージの掲示
- ・横断幕の掲示



No.33 スポーツマスター事業

事業の目的

スポーツ分野において輝かしい功績を残した本市ゆかりのアスリートにスポーツマスターの称号を与え、スポーツ教室を実施し、スポーツの振興を図る。

事業内容

事業1 スポーツマスターの称号授与

氏名	種目	活動状況
(1) 引木 孝夫	アイスホッケー	活動終了
(2) 鈴木 秀太	バスケットボール	活動終了
(3) 高沢 秀昭	野球	活動終了
(4) 山中 宏美	スピードスケート	活動終了
(5) 本間 貞樹	アイスホッケー	活動終了予定
(6) 佐藤 久佳	水泳	活動中

- R5予定 新たなスポーツマスターを検討

事業2 スポーツ教室の実施

教室	R4実績		R5予定
	回数	参加者	
(1) アイスホッケー教室 講師：本間スポーツマスター	1回	46名	同内容で実施予定
(2) 水泳教室 講師：佐藤スポーツマスター	1回	36名	



No.34 レッドイーグルス北海道との協働事業

事業の目的

本市をホームタウンとするアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業内容

事業1 協働事業の展開

- 内容：包括連携協定を締結し、学校訪問、若年層への競技指導等を実施

区分	R4実績	R5予定
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開幕戦でのイベント協力 ・アイスホッケー教室の開催 ・スケート授業の協力 ・学校訪問 ・著名人の招聘などを通じた来場者促進等 	同内容で実施予定



No.35 Safilva北海道との協働事業

事業の目的

本市をサブホームタウンとするバレーボールチーム「Safilva北海道」との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業内容

事業1 協働事業の展開

- 内容：包括連携協定を締結し、バレーボール競技を通じた地域貢献活動の実施

主な事業内容

- ・市主催事業への協力
- ・バレーボール教室の開催
- ・試合会場での市の施策PR
- ・ホームゲームの開催

区分	R4実績	R5予定
実施内容	バレーボール教室の開催 (12月3日(土)実施)	同内容で実施予定



No.36 青森県八戸市との連携

事業の目的

アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、アイスホッケーの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。

事業内容

事業1 小学生アイスホッケー交流試合の実施

- 内容：本市と八戸市で開催されるアジアリーグアイスホッケーにおいて、両チームの小学生選抜チームによる交流試合を実施

区分	R4実績	R5予定
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流試合は、中止 ・ 代替事業として、両市をホームタウンとする「レッドイーグルス北海道vs東北フリーブレイズ」の試合を観戦し、はちま連携事業を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジアリーグアイスホッケー「レッドイーグルス北海道vs東北フリーブレイズ」の試合に合わせ、苫小牧市が八戸市を訪問し、交流試合等を実施予定



No.37 スポーツ推進委員会活動

事業の目的

各種会議へ参加しスポーツの学びを深め、市主催・共催事業への協力、フロアカーリング等の老若男女が楽しめるスポーツイベントの企画等を実施し、地域スポーツの普及・推進を図る。

事業内容

事業1 定例会議の開催や活動の支援

- 苫小牧市スポーツ推進委員
人数：38人
任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日
2年ごとに改選

区分	R4実績	R5予定
(1) 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会議(2回) ・ スポーツ推進委員研修会(2回) ・ 北海道スポーツ推進委員研究協議会参加(釧路市) ・ 全国スポーツ推進委員研究協議会参加(滋賀県) ・ 胆振管内スポーツ推進委員研修会参加(登別市) ・ 市主催・共催事業への協力等 	同内容で実施予定
(2) 補助額	1,200,000円	1,200,000円



No.38 スポーツボランティアの募集

事業の目的

スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるボランティアを募り、スポーツを通じた地域の活性化やスポーツ振興を図る。

事業内容

事業1 スポーツイベントへの協力

- 内 容：苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントに協力

No.39 アスリートフードマイスターの紹介・養成

事業の目的

身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援し、スポーツ大会や合宿誘致に向けた環境整備を行う。

事業内容

事業1 アスリートフードマイスターの紹介・養成

- 内 容：アスリートフードマイスターの活動の紹介や、セミナー動画の作成・レシコンテスト等を開催

No.40 指定管理者の自主事業の充実

事業の目的

指定管理者による自主事業の充実により、市民の心身の健全な発達、スポーツ振興や施設の利用率向上を図る。

事業内容

1 自主事業参加人数

令和5年1月時点で延べ10万人以上

2 主な自主事業

- オリンピックスケート体験教室
- アブロススポーツアカデミー
- とまこまいストリートスポーツフェスティバル
- カーリング体験
- ラディカルプログラム
- 水難救助訓練の見学及び水難時の対処方法に係る講習会 他多数



No.41 北洋大学との連携

事業の目的

北洋大学の協力を得て市内のスポーツ振興を図る。

事業内容

事業1 スポーツイベントでの事業協力

- 内容：北洋大学の連携・協力の一環として、スポーツ分野における事業協力を実施

区分	R4実績	R5予定
実施内容	【市主催パラスポーツ教室】 車いすバスケットボール教室への事業協力 (令和4年11月26日(土)実施) 北洋大学女子バスケットボール部4名の選手が運営に協力	他のスポーツイベント等も含めて実施予定



No.42 パラスポーツ教室

事業の目的

各種教室などを通じて、障がいのある方がスポーツに親しみ、交流していただくことで、社会参加を促進する。
また、健常者に体験していただき、競技に対する理解やふくしの心の育成を図る。

事業内容

事業1 パラスポーツ教室の開催

- 内 容：各競技団体等から講師を招き、福祉ふれあいセンターを会場に年間5種類の教室を開催

区 分	R4実績	R5予定
(1) フライングディスク教室	28人	同内容で実施予定
(2) ボッチャ教室	37人	
(3) パラアイスホッケー教室	27人	
(4) 車いすバスケットボール教室	30人	
(5) フロアカーリング教室	29人	



No.43 パラスポーツ体験会

事業の目的

様々なパラスポーツ競技を体験できる事業を通じて、パラスポーツを周知し、競技人口の拡大や理解促進につなげる。

事業内容

事業1 パラスポーツ体験会の開催

- 内容：各競技のブースを設け、全市民を対象としたパラスポーツ体験を実施

区分	R4実績	R5予定
(1) 開催日	令和4年9月11日(日)	同内容で 実施予定
(2) 会場	総合体育館	
(3) 開催内容	車いすバスケットボール ボッチャ フライングディスク パラ陸上 サウンドテーブルテニス	
(4) 参加者	76人	



No.44 既存スポーツ施設の改修

事業の目的

老朽化が進んでいるスポーツ施設を改修・再整備することで、魅力を向上し、より多くの方に利用いただける施設として有効に活用する。

事業内容

事業1 矢代スポーツセンター（旧屋内ゲートボール場）改修

平成元年に開設した施設の多目的化

改修内容

- 床面の人工芝化
- 天井・壁面に防球ネットの設置
- アリーナ照明のLED化

野球・フットサル利用状況

R5.1月 4団体7回 2月 10団体25回



事業2 緑ヶ丘公園庭球場改修

平成7年に整備した8面を2年間で改修

改修内容

- 人工芝コート・外周フェンスの更新
- 照明のLED化
- 休憩スペースの新設



令和5年度予定事業：市営少年野球場 ラバーフェンス、バックネット更新

No.45 スポーツ施設の一体管理

事業の目的

複数のスポーツ施設を1つの指定管理者が一体的に管理することで、施設の効果的・効率的な運営や、利用促進を図る。

事業内容

事業1 総合・川沿公園・日吉体育館（体育館3館）の一体管理

- 各館の予約状況を把握し、調整が可能
- 各地域において、同じ内容の自主事業の教室などを開催することが可能



事業2 緑ヶ丘公園内スポーツ施設（7施設）の一体管理

- 施設を効率的に維持管理することで、より良い競技環境を提供
- 緑ヶ丘スポーツ施設全体の予約状況を把握し調整することで、大会時などの混雑緩和

